



迎春



昨年は、皆様のご支援・協力のお陰で沢山の活動ができましたことを感謝申し上げます。世界の人が皆幸せになるように一人ひとりが今出来ることを考え、ボランティアの輪がより広まりますよう参加していただくことを願います。そしてエル・エンジェルの愛が・優しさが満ち溢れますよう願っております。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

制服のお礼 サンデベシ校

前回三十四号のボランティア便りで「サンデベシ校の子供達に制服を」と御願い致しましたところ、たくさんの方々の暖かいお心をいただき本当にありがとうございます。十一月十六日より二十三日までネパールを訪問しその際制服を子供達のサイズに合わせ調達しておりましたので生徒四百三十八名全員一人ずつに手渡すことができました。先生方にはセーターをプレゼントしました。子供達は身体中から嬉しさが溢れ制服を大事に抱えて、喜び一杯の笑顔で飛び跳ねていました。幾山を越えて通っているのでしょうか。帰路遙か山の上の方からいつまでも手を振ってくれていました。本当に本当に喜んでいただけました。
御協力いただいた皆様に心より深く感謝申し上げます。



☆ 制服と

運動会と

リボンと

サンデベシ校

学校に到着すると、道の両側に生徒全員が花飾りを持って並んで、私達一人ひとりに歓迎を込めて、花輪をかけてくれ、温かく迎えていただきました。

一人ひとりに制服を手渡すことができました。どんなにか嬉しいのでしょうか男子も女子も満面の笑みでした。

その後生徒全員の参加のもと、校庭で学年別に徒競走をしました。低学年はかけっこを、高学年はうさぎ跳び競争をして、一等賞にはぬいぐるみ、二、三等賞には文具の賞品を渡しました。賞品を手にした子供たちはこれまた笑顔で溢れていました。校庭の周りを村民の方々総出で取り囲んで、徒競走に参加した生徒一人ひとりに声援を送って、楽しんでいただきました。

ネパールの学校では女生徒が髪にリボンをつけておしゃれを楽しんでいます。サンデベシ校ではつけていない生徒がいたので、持って行った白やピンクのリボンを結んであげると、次から次へとつけていない女生徒が列を成して大賑わいでした。リボンを結んでもらった生徒はとても嬉しそうでした。

☆ 特別賞与

エル・エンジェル校

訪問する度に子供達の成長が見られます。

三階にあるゲストルームは少しでも長く進学の為の勉強がしたい、向学心に燃えた生徒達が寄宿し、生徒を支える先生達も住んでいました。

医者になりたい・弁護士になりたい等生徒達は未来に夢を持っています。未来にキラキラした夢を持てる、未来に希望を持てる。その子供達に未来を希望を見ました。

私達が想像する以上にエル・エンジェル校の子供達の成長はめざましく、教育の質の大事さを改めて思いました。

生徒の成績向上が先生方の努力によるものであるということで先生方にボーナスを支給させていただきました。努力すれば報われることで、今後の先生達の励みになると思います。

☆ 大成のカレー

エル・エンジェル校

狭い校庭にイスが並び一学年から順にカレーが配られました。皿に大盛りのご飯が盛られ、次に野菜や豆のカレーがかけられました。最初、スプーンで食べていましたがなかなか思うように食べられません。先生がスプーンを回し手で食べるように言われるとあっという間に大盛りカレーを完食です。次から次におかわりが配られ、二・三日分を食べているのではと思われるほどの気持ちいい食べっぷりでした。

カレーの後でプレゼントを渡しました。杉本小学校・南毛利中学校から頂いた文具類にキャンディ・ガムを添えました。学年ごとに分けたはずなのに残って数がバラバラでした。まだモクモクとカレーを食べている子供達がいたのでした。もりもりと食べている子供達の食べっぷりに私達は圧倒されました。こんなにも食べることに真剣で米一粒も大事に食べる尊い姿を見せて頂きました。ボランティアで来させていただいて本当に有難いことだと思いました。杉本小学校・南毛利中学校の皆様いつもネパールの子供達に心を寄せてくださりありがとうございます。

◇ 国際文化交流

英語版紙芝居

エル・エンジェル校

海老名市立杉本小学校の皆様より手づくりの紙芝居や、学校紹介・海老名市紹介・自分達の紹介などいろいろと心のこもったプレゼントをいただきました。

英語教育が行われているエル・エンジェル校で早速紙芝居を一クラスより十クラスまでしました。

日本の童話の浦島太郎・桃太郎でした。浦島太郎が最後にけむりでおじいさんになった場面では子供達の笑いが出ました。

一生懸命聞いてくださいました。自分も作ってみたい・絵がきれいなどとても喜んでいただきました。どんなことでも吸収しようというネパールの子供達の意欲に圧倒されます。



☆ ナヤガン校 訪問

カトマンズから車で険しい山道を約三時間走った、山奥深い村にあるナヤガン校を訪れました。校舎はレンガを積んだ、平屋造りの古びた建物で、屋根はトタンを石で押さえていただけで、約二百二十名の子どもたちが勉強しています。教室は四教室ありますが、内部は暗く床面は土のままです。教室は日本の学校の教室の約五分の一ほどの広さで子どもたちが勉強をしています。砂ぼこりの机や椅子は半ば壊れていて、子どもたちが勉強できるようにな状態ではありませんでした。当協会は校舎建て直しの準備をしています。

子どもたちにはえんぴつなどの文具や鉛を渡しました。どの子どもたちも純朴そのもので、恥じらいながら受け取ってくれました。山奥の子どもたちは飴など食べたこともないらしく、飴の包み紙をむくことも分からなく、そのまま口にする子どももいて、紙をむいて口に入れてあげると顔がほころんでいました。

子どもたちは学用品をいれるカバンも無くノートや教科書をそのままこわきにかかえて通学していました。破けて肩や肘に見える制服を着て、それでもニコニコ小さな野の花を手私に私たちを迎えてくれた子どもたち。せめて制服とカバンを揃えてあげたいと切に願います。

◇ 感謝状 ネパール政府から

ネパール国の文部大臣が私たちの宿泊ホテルまで来られ、当協会のネパールでの学校建設に対して政府からの感謝状を会長に手渡されました。

会長は挨拶のなかで初めてネパールを訪問したとき、路上で物売りの少年が字が読めるようになりたいと言った子供の切なる思いや、別のところでは十歳過ぎた女の子を一人も見かけなくして貧しさゆえに売られて行った子供たちのことを知り、一人でも多くの子供たちに勉強してもらいたい、学校を作りたい思いなどからネパールに学校を奔走し、現在三つ目の学校建設に着手しつつあることを話されました。

文部大臣からは、「エル・エンジェル協会のボランティア活動は神様の御業のようにすばらしくネパールのたくさんの子どもたちや親たちからも感謝の声が届いています」と当協会の活動を称賛され感謝の言葉を述べられました。また、当協会が最初に建設・運営しているエル・エンジェル校を高く評価していただき、エル・エンジェル校を訪問し、どのようなことが参考になるか見てネパールの学校に広く取り入れたいと話されました。

エル・エンジェル校がネパール国でのモデル校として発展していることをうれしく思うとともに皆様からの温かいご支援のおかげだと思えました。

☆ 今年年の
活動予定

一、インド学生の衛生指導

トイレ建設

一、ナヤガン校建設

一、エル・エンジェル校の生徒の制服支援

一、ナヤガン校の生徒の制服支援と教科書を入れる物(場所柄を考慮するとリュックが最適と思われる)

一、サンデイベシ校・ナヤガン校の生徒にワラゾウリの作り方を教える。(裸足の生徒が多いが辺境の地域のためゴムゾウリや靴等はサイズ等も含め購入が困難です。藁は現地において使用後は肥料になります)

一、文具(鉛筆・ノート・消しゴム等)の支援

☆ 口八ム
紙代衣製作中

ネパール・インドの子供たちに渡すお土産を入れる袋は、環境のことを考え今後は包装紙、チラシ等の紙袋を使用する予定です。

一回の訪問で約1000の袋が必要で、A3サイズ(仕上がり25センチ×35センチ)で約2センチのマチ付きの袋を製作中です。環境を汚さず真に喜ばれる支援を心掛けるように考えていきたいと思っています。

☆ フリー
マーケット

IN広島

日時：2006年10月22日

報告者：若林弘美

去年に続いて、「おりーぶの秋祭り」があった老人ホーム「おりーぶえん」でフリーマを開催しました。

今年も、余剰品の販売に加え、手作り作品をたくさん用意する方針をたてて挑みました。準備期間はおよそ10ヶ月。クッションやテブルクロス、袋小物など多種多様な作品が出来上がり、去年並みの品揃えと売り上げにつなげることができました。当日好評だったのは、薄型クッションです。

車イスでは、背中やひじに当てて使うとラクだという理由から、施設に入所されている方が気に入って下さいました。

作品作りにあたっては「布」のご提供をいただいたこと、プロ並みの製作者がスタッフにいたことがきっかけとなりましたが、作品のアイデアを出すなど話し合いの場を持ちながら参加者が心を一つにして取り組むことができたと感じています。このほか、フリーマの趣旨に賛同した方からの手作り作品も多く寄せられました。

また、エル・エンジェルの活動内容を紹介する写真・資料などを九州からサポートをいただき、周りに支えられてのフリーマ体験となりました。本当にありがとうございます。

☆ 関東地区
バザー

一年を通して

五月に町田ボランティア連絡協議会のバザーを始めとして、単独バザーやフリーマーケット等、計八回参加させて頂きました。特に印象に残ったのは、十月に参加した町田第五小学校の子供祭りでの事です。「あてくじ」を昨年の倍、四百個用意しました。多くの子供達が集まり、その時にネパールやインドの子供達の話をしたところ、彼らはくじや焼き菓子を購入しただけでなく募金をしてくれたり、他の子へ声をかけて販売に協力してくれました。純粋で優しい子供のころに胸が温かくなりました。

ご寄付を頂いた方々や、ビラの配布や販売等ご協力して頂いた方々の暖かい思いのおかげで、今年も、楽しく有意義なバザーを何度も体験させて頂きました。

有難うございました。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 番号 68107191

☆ 喜びの輪
町田サポーター事業

「来月も参加します」と言って参加家族や福祉園やボランティアの皆様が帰られる時、とても有難く参加させて頂く喜びの思いが溢れます。

笑顔の子ども達を見る時、幸せな気持ちに溢れます。怪我や事故が無くサポーター事業が終了すると、参加した皆に笑顔が溢れます。

事業を計画する人、参加する人等、皆様の協力で運営されております。3月まで残すところ3回となりました。これからも油断しないで感謝の気持ちをもつて活動していきたいと思っております。

今後の予定として計画しています。
1月28日(日) 凧揚げ大会(凧作製)
2月25日(日) イチゴ狩り
3月11日(日) デイズニー

参加家族の感想

○ 内観をすることによって、落ち着いて子供に接することが出来るようになり、心のゆとりが出てきた。
○ 子どもが以前より落ち着いてきたように思う。

編集後記

ネパールやインドの子どもたちの喜ぶ顔が見たくて次の訪問に思いをめぐらせています。

新しい年を迎え、心新たに世界中の人たちの幸せを願い、微力ながらも活動を進めてまいります。今年も皆さまのご協力をいただいでボランティア便りを年4回発行の予定です。どうぞよろしく願い申し上げます。(ス)